

## 厚木市役所訪問 ～ 厚木市へのゴール寄贈を受けて ～



2021(令和 3)年12月21日(火)、本協会「ゴール寄贈事業」により厚木市の下川入多目的サッカー場に少年用ゴール1組、ゴールネット1対、ゴール固定用ペグが寄贈されたことを受け、坂本紀典会長、石井秀明常務理事で厚木市役所に小林常良市長を訪問しました。

当日は、小林常良市長のほかに佐後佳親 教育委員会教育長・佐藤拓 教育委員会社会教育部 スポーツ推進課長・田坂幸治 厚木市市長室秘書課長、梅津昌信 (公財)厚木スポーツ協会 事務局長ならびに厚木市サッカー協会の福田博明副会長、橋本和典 理事長が会し、坂本会長の目録贈呈から記念撮影の後に会長挨拶、それに対して小林市長、佐後教育長のお礼の言葉があり、その後は終始和やかな懇談の時間を作っていただきました。

坂本会長からは、子ども達が安全で安心してスポーツに打ち込めるよう、このゴール寄贈事業を10年以上続けており、今まで厚木市には3組のゴール寄贈を行なったこと。

また、この寄贈事業以外にも、サッカーに関わる様々な施策を実施しており、引き続き厚木市とも協力して県サッカー協会の理念に基づき事業を進めていきたいとの挨拶がありました。

小林市長、佐後教育長からは、ゴール寄贈に感謝し有効に活用できるように厚木市サッカー協会とも連携し、子ども達の健全な育成を後押ししたい旨のお礼の言葉がありました。

厚木市以外にも今年度(2021年度)は全部で4か所にゴールを寄贈しました。10年以上続いたこの施策により、主に4種少年少女年代の施設の充実を図り、公式戦等が行える施設が増え、最新の軽量ゴールの導入により持ち運びが格段に楽になり、試合の運営がスムーズに行われたものと思います。

今後もできる限りの支援をしていきたいと考えています。